

蓬萊町だより

第三十号

平成3年11月20日
 発行者 蓬萊町会
 編集者 文化部

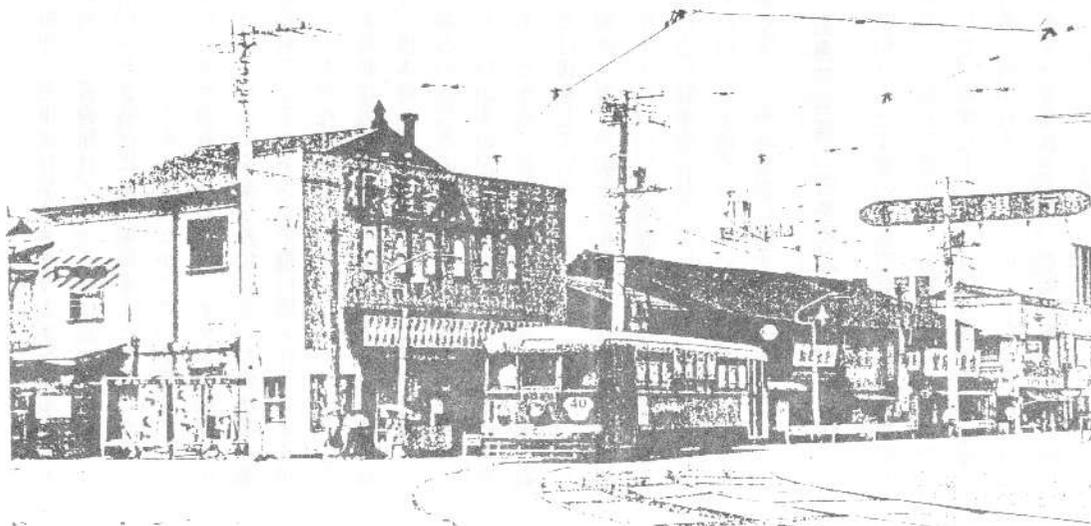
蓬萊町界限 (その二十六)

根津芙蓉館のこと (I)

林 順 信



芙蓉館
 念紀館開



「蓬萊町だより」も第二十六号から図版や写真版が使えるようになって、立体的な理解を助けることになった。第二十八号の「肴町界限図」を掲出したあとで、町会の方々や肴町の方々からの、詳しい指摘を頂いた。それを綺麗に清書された地図を町会の池田暉氏から頂き、この場をお借りして厚く御礼申し上げる次第です。今回は時間の都合で南部の方の地図をご紹介します。ことができません、後日にゆずることとした。

ここ数年来、根津神社を中心として、「つつじまつり」や「台東・文京下町まつり」などで蓬萊町界限に対する世間の注目が増え、祭りの期間中は、路上を歩く人々で、観光地の様な雰囲気になっている。

道の巾の広い根津裏門坂と、その延長の蓬萊町の通りは、大きく育った柳が青々とした枝を風になびかせている風情はなかなかのもので、柳の専売特許の銀座通りがトントだめなのに、蓬萊町ばかりは人を招く柳並木があるので評判が高い。

根津裏門坂は、昭和十一年に現在の様に拡巾されたが、以前はもっと狭かった。本年の様に集中豪雨があれば、坂下はたちまち膝くらいまで出水をみた。長靴でも無理な程の水かさだった。根津裏門坂のどんつきには、左手に安藤質屋の紺のれんがゆらぎ、右手には父番があった。安

藤質屋の息子は誠之小学校で私の一級下だった。たしか慶應高校に入学したと思うのだが、戦後は質屋がなくなって消息は解らない。

坂の左手には、この界限での古い映画館芙蓉館があった。創業ははつきり解らないのだが、つい最近になって、芙蓉館開館記念の絵はがきを入手したので紹介する。ルネッサンス式のしゃれた白亜の殿堂のごとくであり、階上に尖塔を頂くといい、なかなかの建築である。芙蓉館は関東大震災でも今次の大戦でも焼けなかったが、私が二十五年前に撮影した姿は余りにも創業当時の建物とはちがっているので、恐らく改築した筈である。

創業年代は不詳だが、大正十年すぎだと思ふ。私の手もとにある『芙蓉にゆうす、第八号』が大正十五年二月十二日発行とあるが、創業と同時期に『芙蓉にゆうす』を出したとも考えにくいから、大正十五年よりも少し古いのではないかと思ふ。

芙蓉館とは花の芙蓉のことを思い浮かべたのだったが、今から二十数年前に、廃業するとき映画館の係員が、持主は静岡県清水市の人とか聞いた。そのとき私はうっかりしてもっと詳しく聞いておけば良かったのに……。あとのまっくらだったのが、芙蓉館の芙蓉とは芙蓉寮の富士山のことだったのかと、考えついたのは、皮肉にも閉館となつてからだった。

根津の電車通りが大きくカーブを切るところにあつた芙蓉館は、けっこう日立つ存在だった。昭和一ケタ時代には、中に楽士と弁士とが入つていて、トーキーではなかったのを覚えていて、赤だの黄だのみどりの、チラシが郵便受に投げ込まれるのを楽しみにしていたのは我々悪童どもで、そのチラシで飛行機を作つてよく飛ばしたものだつた。

芙蓉館は戦時中には根津東宝となり、古川緑波、榎本健一、横山エンタツ、花菱アチャコ、高瀬みのるなどの東宝喜劇陣の映画の三番館だった。白山下の白山東宝とフィルムはかけ持ちであつたから、若い衆がフミキリの白転車で急いで往復をしていた。

戦後は根津東映と名を変えていたが、昭和四十年すぎに、ついに廃館となつた。跡地は宮本燃料店の駐車場となつているが、映画館というものは広い土地を持っていたものだ、そこを通る度に、当時を想い出すのである。

高島前会長の労を称ふ

昭和五十三年度の蓬萊町会名簿に「蓬萊町の沿革」と題して書かれた貴方の文章をきっかけとして、昭和五十六年八月に「蓬萊町百年記念行事が開かれました。先に亡くなられた久貝会長を実行委員長として、この行事の推進計画の中心となつたのは貴方です。

振り返ればあれから十年が立ちました。当時精力的にこの行事の成功の為に走り廻つた幾人かは他界し、また病に伏しておられます。十年一昔といいますが感慨深いものがあります。

つい数年前体調をくずされて退かれた久貝会長の後、当然貴方が会長職を引き継がれたわけですが、こんどはその貴方が体調をくずされてしまいました。貴方は町会の役員として大方半世紀余りを当町会の為に、公私共に尽されて来た。その後の姿はご近所の方々は勿論多くの人々が感謝と敬意を持って見つめて来ました。これからもせいぜいお体に気をつけて蓬萊町の生き字引きとして我々後進のためご助言いただきたいと思います。長年にわたる町会へのご尽力に対しここにあらためて深く感謝の意を申しのべます。

高島さん本当に長い間ご苦労様でした。(池田暉記)

御挨拶

新町会長 廣澤 長次郎
町会員の皆様いつも町政にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

この度前会長高島正義氏が一身上の都合により、会長を辞任されました。町会として去る十月緊急役員会を開き役員三十四名、婦人部長代理一名、青年部長一名、計三十六名。

(内訳) 出席二十一名、委任状九名、欠席五名

この度新町会長に不肖私が選任されました。何分にも不慣れと重責で心配であります。皆様のご指導とご助力をお願い申し上げます。町会の安寧と会員相互の親睦を第一と考え、他町会と共に町の発展向上に努力するつもりであります。宜しくお願い申し上げます。

町会活動の概要

平成3年4月から平成3年10月中旬まで

総務部

6/22 北部 退任 日色利行氏

7/1 新任 小林佐一郎氏

平成三年度商業調査、実施、総理府統計局の委嘱により町会役員が担当させていただきました。ご協力誠に有難うございました。

7/19 当町会より長崎県雲仙岳噴火災害の救

援募金に金二万円を寄付致しました。

10/12 町会長後任選出、臨時役員会開催、

高島町会長より一身上の都合によって会長職を辞任したい旨の申し出を受理し、本日の臨時役員会において協議した結果、第十六代会長に現副会長、広

沢長次郎氏を推挙致しました。

10/12 役員の新任について、

北部 大畑清心氏、十月付で就任、現 蓬萊町会顧問 奥田 実様、ご逝去、奥田様は司法界において多年に亘り活躍なされ、その業績は甚大なものと伺っております。また、町会の事業につきましても昭和二十八年より二年余にわたり第十一代蓬萊町会長として重責にあたられました。

9/25 その後は町会顧問として、今日まで種々町会事業の運営につきまして助言と指導を賜りました事は、私共町会役員一同心より深謝申し上げます。

計報

当町内にお住いの方で平成三年四月下旬から十月中旬までの間に逝去された方々のお名前は左記の通りでございます。謹んでお悔やみを申し上げます、ご冥福をお祈り申し上げます。

記

久貝貫一様、川村秀次郎様、辻 くに様、

信木二郎様、宮下トシ様、高岡喜太郎様、

島田茂夫様、奥田 実様、

青年部

6/16 第一回ビーチボールバレー大会

7/21 「親と子の工作広場」

8/25 恒例盆おどり大会

10/13 第二回ビーチボールバレー大会

※紙面の都合上くわしくは次号で青年部長の原稿をいただくことになっております。

6/22

蓬萊町会総会開催、

平成二年度決算報告並びに平成三年度予算は、前号(8/10)に掲載致しました。

6/22

役員の一部改選について、

南部 退任 原 英文氏

新任 刀禰忠雄氏

ございます。

ご生前のご功績に感謝申し上げますと共に心からご冥福を祈念いたします。

防 犯 部

9/17 駒込防犯協会、総会、防犯部長出席、
10/11~20 「秋の防犯運動」旬間

交 通 部

9/21~30 「秋の交通安全運動」旬間

当旬間中は交通部員・婦人部員・友の会会員の皆さんが街路において交通安全のための指導と啓蒙に連日務められ大きな成果を挙げる事が出来ました。交通事故は一瞬の焦りもせと。狭い日本そんなに焦ってどこえ行く、スロウガンではありませんが冷静と沈着さで不慮な交通事故は起さぬ、遭わぬ、で行きましょう。

防 火 防 災 部

7/7 「防災講習会」参加

文京区役所・本郷消防署主催による講習会が文京六中校庭において午前9時/11時30分まで実施されました。情報連絡・初期消火・応急手当等・私達も常に心得て置く必要があるものば

かりですが、なかなか臨場の場では素早い処置は出来ないものです、是非この様な催し機会に参加して会得して見てください。

9/1~7 「救急医療週間」実施、

9/11 「急病・事故時の一般的応急手当」講演会、参加、

区民センターに於て、日本医大 救急医療室長 講演、

文 化 部

5/10 蓬萊だより 28号発行、

8/10 " 29号発行、

※ 文化部では一般会員皆様の寄稿をお待ちしております。

感想、詩、短歌、俳句、などお寄せ戴ければ幸いです。

衛 生 部

5/18 殺虫剤「スミチオン」文京区役所支給品、各宅に配布、

婦 人 部

9/11 「文京区釣りの会」主催、敬老はげ天ぷら会、開催、

婦人部では発足時よりボランティア活動の一環として催しのお手伝いを部員全

員で行って参りました。

本年も台所方など精一杯奉仕させて頂きました。

この様な催しも今年で35周年を迎えたとの事で、文京釣りの会より婦人部員に感謝状が贈られました事を他事ながら報告させて頂きます。

10上旬

「日赤共同募金」一金十七万八千二百円、

いつもながら暖かいご厚志を賜り誠に有難う存じます。

お陰をもちまして右記の金出を募金会に収めました事をお知らせ致します、年末には「歳末助け合い」の募金もございしますが、よろしくお願い申し上げます。

編 集 後 記

今年の行楽期は秋雨前線が断続的に長らく続いたうえに台風も週末にはおとづれる不安定な天候でした、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。秋晴れのすがすがしい気候も感じぬままに初冬を迎えるような気が致します。

今後一層のご協力をお願いします。

編集委員

小林晋吉、竹中一馬、高橋一郎、

猪熊良晃、池田 暉、